



# JI Technology – 高可用性ソリューション

冗長性と災害復旧管理のための高可用性アプリケーションサーバー

## JI Technology

JI テクノロジーは、MNO、MVNO、システム・インテグレータおよびサービスプロバイダにソリューションおよび事業開発を提供するために 2008 年に設立されました。提供するこれらのソリューションには、課金、メッセージング、ゲートウェイアプリケーション、およびサービス制御ソリューションが含まれます。当社の現在および過去の契約には、プリペイド、ロイヤルティ、マルチペイメントチャネルサービス、IOT、SMS ゲートウェイ、4G/5G プライベートネットワーク/EDGE 用 EPC、Fintech コンサルティングなどが含まれます。



### PRIVATE 4G & 5G EPC

4G と 5G 無線の両方に共通のコアを使用する、エンタープライズ、インテグレーター、サービスプロバイダー向けの完全な 4G/5G EPC



### DEVICE CONTROL

IMEI と IMSI を使用してアクセスを制御することによる、プライベート ネットワークのセキュリティの第 1 層



### BESPOKE SOLUTIONS

競争力と機敏性。予約販売から配送まで



### HIGH AVAILABILITY

アプリケーションを監視し、複数の障害シナリオを処理して、冗長性と災害復旧をサポートします。

## プライベートおよびローカル4G|5G環境向けのEPCのHAおよびDR

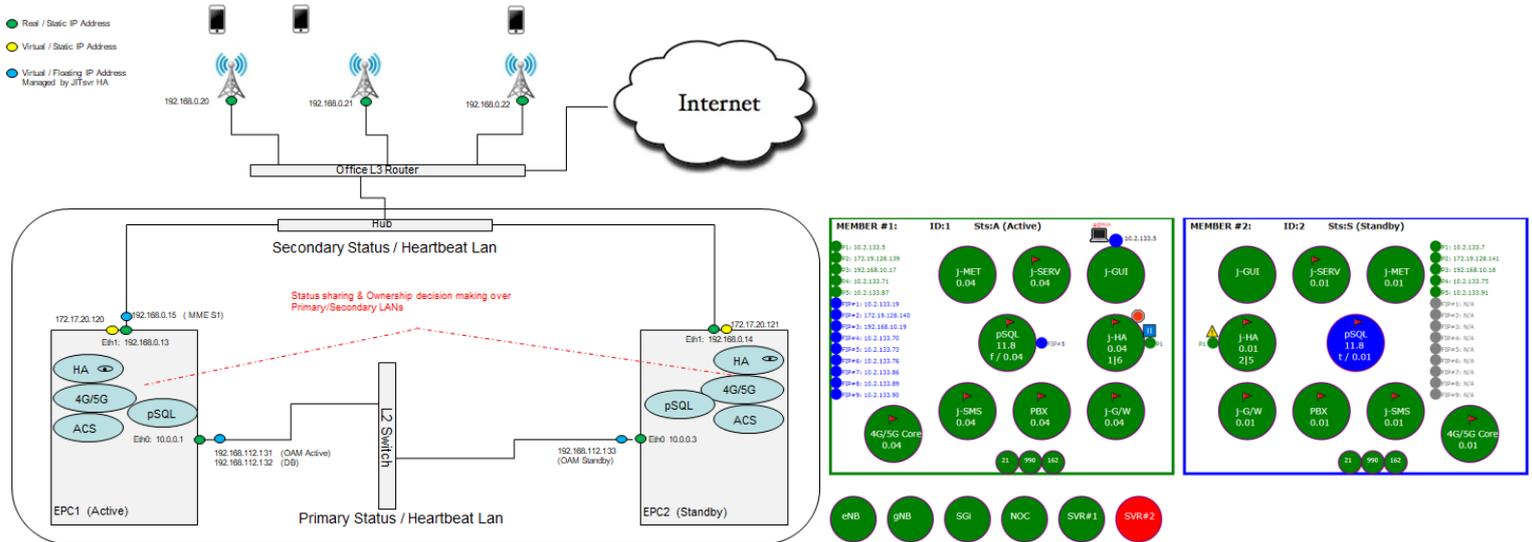
HA (高可用性) 戦略は、小規模で局所的な障害や障害に対処します。DR (災害復旧) とは、システムまたはネットワークがダウンしたときの計画と、システムまたはネットワークの結果をどのように処理するかを計画することです。ほとんどのプライベート 4G/5G ネットワークはミッション クリティカルなものであり、ローカルのハードウェア障害、停電、災害などに関係なく、アプリケーション/システム/ネットワーク障害が発生した場合でも、常に利用可能である必要があります。

### なぜJITHA/DRソリューションなのか？

JITsvrHA (高可用性) は、アクティブ/アクティブ、アクティブ/ウォームスタンバイ (アクティブ-パッシブ)、アクティブ/コールドスタンバイプロセスをサポート行うクラスター管理ソリューションであり、継続的な可用性、ローカル冗長性、地理的冗長性、およびディザスタ・リカバリを保証します。

- アプリケーションに非依存、アプリケーションの監視と管理。例：JIT アプリケーション、Private 4G/5G core、Apache およびその他の Web サーバ、Tomcat アプリケーション、任意のデータベース等
- 手動フェイルオーバーのサポートまたは定期的なメンテナンススケジュール
- 色分けされた GUI によるステータス監視と制御コマンドラインインターフェイス
- フェイルオーバーロギング (ログファイルおよび GUI)
- フラグが立てられたプロセス、VIP アドレスのフェイルオーバー
- アクティブノードとノードの優先度を決定するための自動ハンドシェイク





## JITsvrHA & sXGPソリューションの詳細

JITsvrHA は、クラスターメンバーごとに1つのプロセスが配置されます。JITsvrHA プロセスは、メンバーのアプリケーションやステータス管理を行います。障害が検出されると、フェイルオーバー機能が実行されます。

- CLIとGUIを介して高可用性マネージャーを簡単に停止/開始/一時停止/再開できます
- CLIとGUIを介してHAマネージャーと各メンバーのステータスを簡単に監視できます
- クラスターは複数のメンバーに拡張できます。最小クラスターサイズは2メンバーです
- 少なくとも単一障害点の可用性管理について確認済みです
- 専用ハートビートLANを使用するオプション、または仮想IPを使用して共通LANを使用するオプションがあります
- デュアルノードクラスター内の両方のサーバのそれぞれのパワーダウンを処理します
- sXGP & 5G環境 (EPC、eNB、UE、SIM) で検証済みです
- X86クラスターで検証済みです
- 複数のフローティング仮想IPアドレスの監視を行います
- 静的IPアドレスを監視を行います
- Linuxプロセスのチェックを行います
- ハートビートチェックを処理します (チェックプロセスが応答するか否か)
- 「失敗」のログを取ります
- PostgresDBの自動同期を行います。
- アプリケーションを停止/開始/再起動/同期するためのローカルフェイルオーバースクリプトを呼び出すための設定可能なフックを使用できます
- VoLTEがアクティブに変更されたときにパッシブ (であった) ノードによって処理されるようにする Private 4G/5G core 固有のフックを使用できます
- JITsvrACSと組み合わせて、障害後にすべてのUEが同時に再接続する場合に、接続の試行をずらすための接続遅延時間を使用します
- 監視対象メンバー、ローカルプロセスステータス、IPステータスなどをチェックするための設定可能なインターバルタイマーを持ちます
- <http://www.jitechnology.com>を参照してください